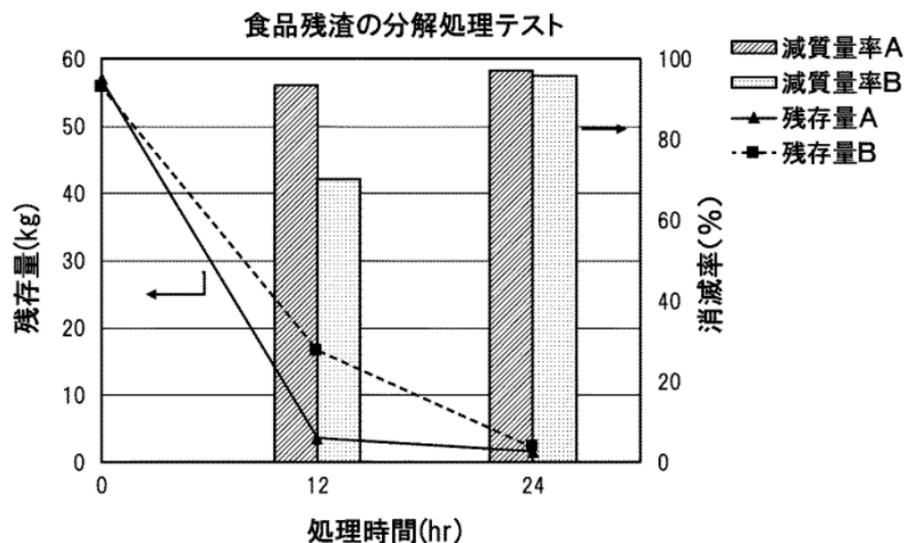


# 廃棄物処理

## 生ごみを短時間で分解消滅処理可能な分解促進剤

発明の名称	有機廃棄物の分解促進剤及びこれを含む微生物資材		
出願人/権利人	環境触媒科学株式会社、河野 良平	発明者	小栗 光雄、河野 良平
出願日	平成28年11月10日	出願番号	2016-219368
公開番号	-	特許番号	6232545
法的状態	登録中		

### 代表図



A:腐食複合体(発明品)を利用 B:おがくず(比較例)を利用

### 発明の概要

玄武岩質安山岩から抽出した鉄を含む複数のミネラルの存在下で有機物を腐植化させて得られるミネラル腐植複合体を含む、有機廃棄物の分解促進剤

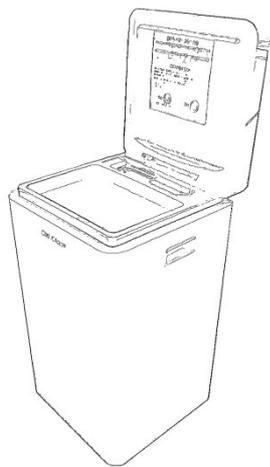
### 特徴

本発明の有機廃棄物分解促進剤は、好気性細菌及び／又は通性嫌気性細菌を含む単一又は複合細菌と、玄武岩質安山岩から抽出した鉄を含む複数のミネラルの存在下で腐植化された有機物であるミネラル腐植複合体とを含む。有機廃棄物、特に、生ゴミが短時間で分解消滅処理することができる。また、分解過程で発生していた臭気も少なく、減質量率を向上してほとんどの生ゴミが消滅するという利点がある。

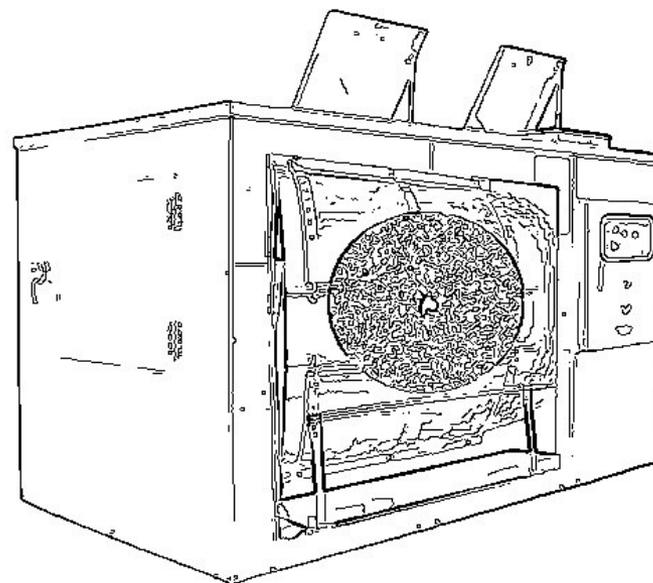
関連分野

農林水産、ケミカル、エネルギー、業務用機械

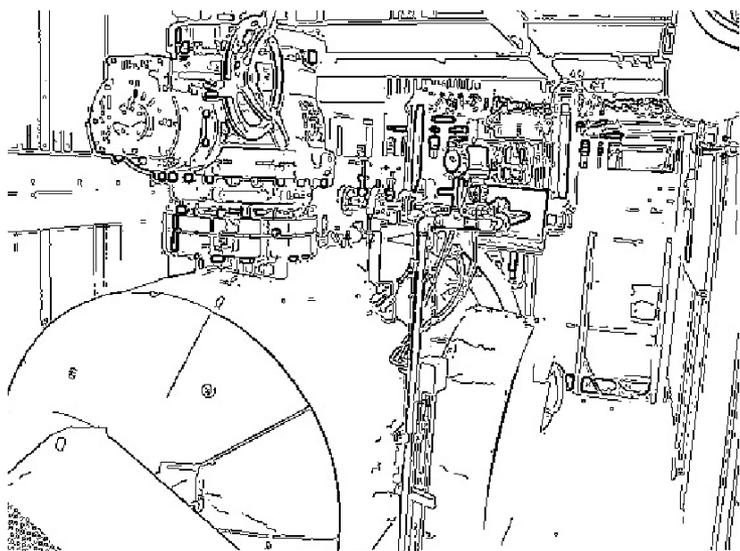
# 応用の可能性



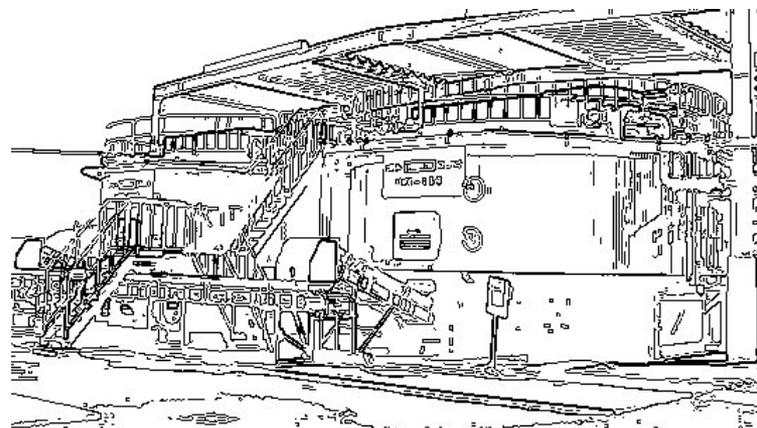
ゴミ処理装置(家庭用)



ゴミ処理装置(事業所用)



バイオマス装置



たい肥製造装置

など

## 応用の可能性

- ・ゴミ処理装置（家庭用、事業所用）
- ・バイオマス装置
- ・たい肥製造装置
- など

## 本技術の活用が見込める企業の一例

- ・パナソニック株式会社
- ・アイリスオーヤマ株式会社
- ・株式会社ちくま精機
- ・三菱化工機株式会社
- ・スターエンジニアリング株式会社
- ・アーク日本株式会社
- ・株式会社日立製作所
- ・日本フォレスト株式会社
- ・中部エコテック株式会社
- など

## 環境触媒科学株式会社の当発明に関する最新動向

- ・同社のホームページはなく、インターネット上の公開情報において情報掲載は見られず、目立った動きは見受けられない。